

施設名	脊振眼鏡橋								
所在地	佐賀県 神崎市								
管理者等	神崎市								
施設種類・分野	河川			橋					
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>脊振眼鏡橋は、佐賀県では少ない石造アーチ橋のひとつで、神崎市の吉野ヶ里遺跡から、北の脊振連峰に向かう県道21号線沿いの城原川に架かる石造アーチ橋です。明治の中期、脊振峡県道工事に伴って建設され、1891年に竣工しました。</p> <p>多くの橋が流失した1907年の城原川の大水害にも耐え、三瀬、脊振の山内地区の産業開発に貢献してきましたが、車両の大型化と交通量の増大に伴い1978年に新橋が建設され、主要道としての橋の役割を終え、市道の一部として活用されています。(参考文献より引用)</p>								
築造時期	明治中期			時期詳細	明治24年				
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	-								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	-	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
	その他の指定・認定 神崎市重要文化財								
その他 (関連資料、文献)	九州地域づくり協会資料HP http://dobokuisan.qscpua2.com/								
管理者等のHP (URL等)	-								



参考文献より引用